

製品名: ACE2 (9T7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06483**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.36mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	92kDa

抗原情報

遺伝子名	ACE2
別名	Angiotensin-converting enzyme 2; ACE-related carboxypeptidase; Angiotensin-converting enzyme homolog; ACEH; Processed angiotensin-converting enzyme 2; ACE 2; ACEH;
遺伝子 ID	59272.0
SwissProt ID	Q9BYF1
免疫原	ヒトアンジオテンシン変換酵素2の合成ペプチド

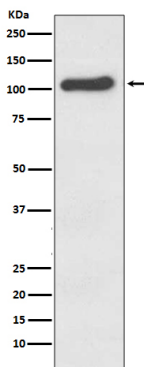
背景

ACE2は、アンジオテンシンIからアンジオテンシン1-9への変換、またはアンジオテンシンIIから血管拡張因子であるアンジオテンシン1-7への変換を触媒するカルボキシペプチダーゼです。ACE2はレニン-アンジオテンシン系(RAS)の重要な構成要素です。また、アペリン-13およびダイノルフィン-13を高効率で加水分解することができます。心機能の重要な調節因子である可能性があります。レニン-アンジオテンシンホルモン系の必須の拮抗調節性カルボキシペプチダーゼであり、血液量、全身血管抵抗、ひいては心血管恒常性の重要な調節因子です(PubMed:27217402)。アンジオテンシンIを、心筋細胞において抗肥大作用を有する9アミノ酸ペプチドであるアンジオテンシン1-9に変換し、またアンジオテンシンIIをアンジオテンシン1-7に変換します。アンジオテンシン1-7は有益な血管拡張剤および抗増殖剤として作用し、血管収縮剤であるアンジオテンシンIIの作用を相殺します(PubMed:10969042、PubMed:10924499、PubMed:11815627、PubMed:19021774、PubMed:14504186)。また、他の3つの血管作動性ペプチド、ニューロテンシン、キネテンシン、および脱ArgブラジキニンからC末端残基を除去しますが、ブラジキニンには活性がありません(PubMed:10969042、PubMed:11815627)。アペリン(アペリン-13、[Pyr1]アペリン-13、アペリン-17、アペリン-36)、カソモルフィン(β -カソモルフィン-7、ネオカソモルフィン)、ダイノルフィンAといった他の生物学的ペプチドも高効率で切断する(PubMed:11815627、PubMed:27217402、PubMed:28293165)。さらに、ACE2のC末端はコレクトリンと相同性があり、直接相互作用を介して中性アミノ酸トランスポーターSL6A19を腸管上皮細胞の細胞膜へ輸送し、細胞表面におけるSL6A19の発現と触媒活性を調節する(PubMed:18424768、PubMed:19185582)。

研究分野

感染症

画像データ



ヒト腎臓溶解物中のACE2発現のウェスタンブロット分析。